

奈良佐保短期大学卒業生の調査報告

The Trends of Graduates of the Nara Saho College

中田 奈月 安永 龍子 武田 千幸

NAKATA Natsuki YASUNAGA Ryuko TAKEDA Chiyuki

1. はじめに

本報告では奈良佐保短期大学卒業生の進路決定および職業継続実態に関する調査データを紹介する。本集計結果は原則として設問ごとに単純集計結果をとりまとめたものである。

本学は1967年に栄養士養成課程を、1973年に幼稚園教諭（二種）養成課程、1999年に介護福祉士養成課程、2001年に保育士養成課程を開設してきた。また2001年に現在の大学名になるとともに男女共学となった。2003年には保育士資格取得者を対象に1年の介護福祉士養成課程である専攻科福祉専攻を開設した。栄養士、介護福祉士はそれぞれ、生活科学科食物栄養専攻、生活福祉専攻で養成してきたが、2009年に生活未来科へ学科名変更に伴いコース制が導入され、現在は、生活未来科食物栄養コース、生活福祉コースで養成している。また、幼稚園教諭、保育士を養成してきた幼児教育科についても2010年に地域こども学科へと学科名が変更された。

今回対象になるのは、2003年度、2005年度、2007年度から2013年度の卒業生、および2003年度から2013年度の専攻科福祉専攻修了生である。

2. 調査の概要

2-1 調査目的

本学卒業生に対して質問紙調査を実施し、卒業後の状況や職業生活および大学教育の効果を明らかにすることを目的に実施した。

2-2 実施時期

2014年3月20日～5月27日

2-3 対象学科

生活科学科・生活未来科、幼児教育科・地域こども学科、専攻科福祉専攻

2-4 調査対象者

2003年度、2005年度、2007年度から2013年度の奈良佐保短期大学卒業生
2003年度から2013年度に修了した奈良佐保短期大学専攻科福祉専攻修了生

2-5 調査手法

本学同窓会卒業生名簿をもとに、調査票にはプライバシーを損ねることがないことを明記した文書を同封して調査対象者に直接調査票を郵送した。

2013年度卒業生についてはプライバシーを損ねることがないことを明示したうえで会場面接法により実施した。

2-6 調査項目

- ・所属していた学科・専攻・コース
- ・卒業後の状況（就職・就業経歴）
- ・現在の活動、仕事、雇用形態
- ・大学教育と職業との関連

2-7 調査票回収状況

卒業生および修了生は1184票送付、有効回収調査票は350票、回収率29.5%であった。2013年度卒業生は152票配布、有効回収調査票は117票、回収率76.9%であった。

全体としては、配布 1336 票、有効回収調査票は 467 票、回収率は 35.0%であった。男性は 109 人 (23.4%)、女性は 358 人 (76.6%) であった。

3. 結果

3-1 図表目次

表1	生年と調査時の年齢	表19	離職したいと思った理由
表2	所属したことがある学科・コース	表20	離職せず職業継続したい理由
表3	取得している資格・免許	表21	介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士を目指したきっかけ
表4	現在の就業パターン	表22	同職種の身内の有無
表5	現在の就業上の身分	表23	学生時代の実習先
表6	現在の勤務先	表24	実習先での経験
表7	職場で働く上で必要な資格	表25	就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目:生活福祉・専攻科科目
表8	現在の地位	表26	就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目:食物栄養科目
表9	現在の立場	表27	就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目:幼児教育・地域こども系科目
表10	現在の年収	表28	在学中の就職希望先
表11	仕事に関する相談相手の有無と性別	表29	就職活動時の有利
表12	仕事に関する相談相手の立場	表30	介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士に対する就業意思
表13	自分の職業上の理想のモデルになる者の有無と性別	表31	職業継続の意思が強くなった理由
表14	自分の職業上の理想のモデルになる者の有無と立場	表32	職業継続の意思が弱くなった理由
表15	性別と仕事内容の違い	表33	専門職としての介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士に必要なもの
表16	性別と昇進の関係	表34	介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士のイメージ
表17	現職についての職業継続意識	図1	職業に対する満足感
表18	離職の意思と離職経験	図2	仕事に対する意識

3-2 本表

表1 生年と調査時の年齢

生年	年齢	人数	比率	生年	年齢	人数	比率
1946	67	1	0.2%	1977	36	3	0.7%
1950	63	1	0.2%	1978	35	2	0.4%
1951	62	2	0.4%	1980	33	7	1.5%
1954	59	2	0.4%	1981	32	13	2.9%
1957	56	1	0.2%	1982	31	34	7.5%
1959	54	1	0.2%	1983	30	22	4.8%
1962	51	1	0.2%	1984	29	11	2.4%
1963	50	1	0.2%	1985	28	39	8.6%
1964	49	2	0.4%	1986	27	45	9.9%
1965	48	1	0.2%	1987	26	40	8.8%
1969	44	1	0.2%	1988	25	36	7.9%
1970	43	2	0.4%	1989	24	25	5.5%
1971	42	4	0.9%	1990	23	29	6.4%
1972	41	1	0.2%	1991	22	37	8.1%
1974	39	1	0.2%	1992	21	68	14.9%
1975	38	1	0.2%	1993	20	20	4.4%
1976	37	2	0.4%	全体		456	100.0%

表2 所属したことがある学科・コース (複数回答)

N=467

所属した学科コース	人数	比率
生活科学科生活福祉専攻	84	17.9%
生活科学科食物栄養専攻	55	11.7%
幼児教育科	158	33.6%
生活未来科生活福祉コース	44	9.4%
生活未来科食物栄養コース	44	9.4%
地域こども学科幼児教育コース	78	16.6%
地域こども学科保育ソーシャルワークコース	7	1.5%
合計	470	100.0%
専攻科福祉専攻	60	

表3 取得している資格・免許（複数回答）

N=470

資格・免許	現在取得している資格（人）	今後、取得したい資格（人）
介護福祉士	161	2
訪問介護員	41	11
栄養士	96	0
幼稚園教諭二種	201	2
保育士	210	7
管理栄養士	4	0
社会福祉士	2	2
看護師	1	3
幼稚園一種	4	1
介護支援専門員	6	2

表4 現在の就業パターン（もっとも近いパターンを選択）

就業パターン	人数	比率
卒業→就職→（現在）仕事を続けている	246	54.8%
卒業→就職→退職→（現在）仕事に従事しない（家事従事者など）	41	9.1%
卒業→就職→退職→（現在）フルタイムの仕事に再就職	69	15.4%
卒業→就職→退職→（現在）臨時・アルバイト・パートタイムで再就職	59	13.1%
卒業→（現在）就職経験なし（家事従事者など）	8	1.8%
卒業→その他（留学など）	26	5.8%
合計（N）	449	100.0%

表5 現在の就業上の身分

就業上の身分	人数	比率
正規常勤	249	54.5%
非正規常勤	63	13.8%
非正規非常勤	49	10.7%
自営業	2	0.4%
家事従事者	51	11.2%
学生	22	4.8%
その他	21	4.6%
合計（N）	457	100.0%

表6 現在の勤務先

勤務先	人数	比率
高齢者福祉施設	116	26.6%
障がい児・者福祉施設	11	2.5%
病院	24	5.5%
公立幼稚園	3	0.7%
私立幼稚園	15	3.4%
公立保育所	37	8.5%
私立保育所	59	13.5%
児童養護施設	3	0.7%
その他公務員	6	1.4%
一般企業	53	12.2%
自営業	5	1.1%
家事従事者	32	7.3%
学生	18	4.1%
その他	54	12.4%
合計（N）	436	100.0%

表7 職場で働く上で必要な資格（複数回答）

N=460

資格・免許	人数	資格取得者(再掲)	資格活用率
介護福祉士	105	161	65.2%
訪問介護員	19	41	46.3%
栄養士	41	96	42.7%
幼稚園教諭二種	40	201	19.9%
保育士	120	210	57.1%
管理栄養士	4	4	100.0%
社会福祉士	2	2	100.0%
看護師	1	1	100.0%
幼稚園教諭一種	1	4	25.0%
介護支援専門員	6	6	100.0%

表8 現在の地位

地位	人数	合計
一般職	221	53.9%
主任相当職	16	3.9%
係長相当職	5	1.2%
部長相当職	1	0.2%
社長・重役・理事相当職	2	0.5%
地位はない	48	11.7%
家事従事者・働いていない・その他	117	28.5%
合計(N)	410	100.0%

表9 現在の立場

立場	人数	合計
新人的立場	119	28.0%
中堅的立場	104	24.5%
リーダー的立場	28	6.6%
ベテラン的立場	9	2.1%
立場はない	48	11.3%
家事従事者・働いていない・その他	117	27.5%
合計(N)	425	100.0%

表10 現在の年収

年収	人数	合計
収入なし	48	14.8%
200万円未満	111	34.2%
200万円台	81	24.9%
300万円台	61	18.8%
400万円台	17	5.2%
500万円台	4	1.2%
600万円台	1	0.3%
700万円台	1	0.3%
800万円台	1	0.3%
合計(N)	325	100.0%

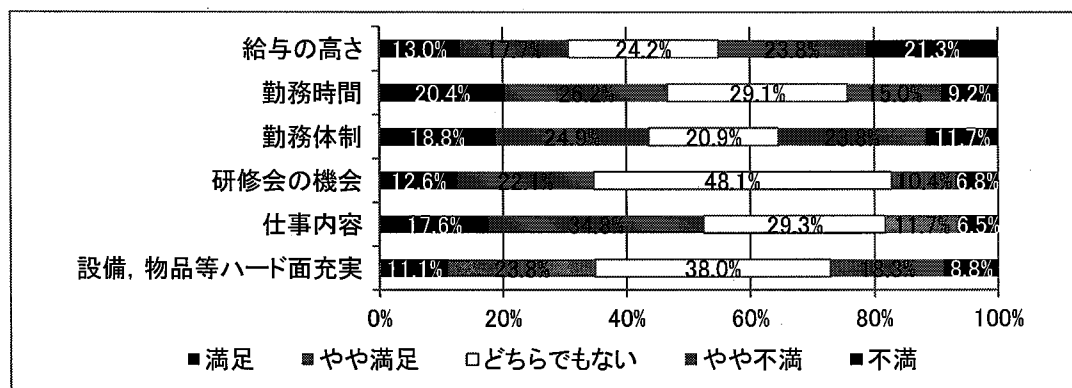


図 1 職業に対する満足感 (N=446)

表 11 仕事に関する相談相手の有無と性別

有無と相手の性別	人数	比率
相談相手なし	41	13.1%
相談相手あり：男性	44	14.0%
相談相手あり：女性	217	69.1%
相談相手あり：男女とも	12	3.8%
合計(N)	314	100.0%

表 12 仕事に関する相談相手の立場

有無と相手の立場	人数	比率
相談相手なし	41	13.7%
相談相手あり：上司	65	21.7%
相談相手あり：同僚	70	23.4%
相談相手あり：同業種の先輩	36	12.0%
相談相手あり：同業種の友人	24	8.0%
相談相手あり：異業種の友人	18	6.0%
相談相手あり：家族	31	10.4%
相談相手あり：その他	14	4.7%
合計 (N)	299	100.0%

表 13 自分の職業上の理想のモデルになる者の有無と性別

有無と相手の性別	人数	比率
モデルなし	128	40.8%
モデルあり：男性	106	33.8%
モデルあり：女性	79	25.2%
モデルあり：男女とも	1	0.3%
合計(N)	314	100.0%

表 14 自分の職業上の理想のモデルになる者の有無と立場

有無と相手の立場	人数	比率
モデルなし	128	59.3%
モデルあり：上司	44	20.4%
モデルあり：同僚	10	4.6%
モデルあり：同業種の先輩	17	7.9%
モデルあり：同業種の友人	2	0.9%
モデルあり：異業種の友人	2	0.9%
モデルあり：家族	5	2.3%
モデルあり：その他	8	3.7%
合計 (N)	216	100.0%

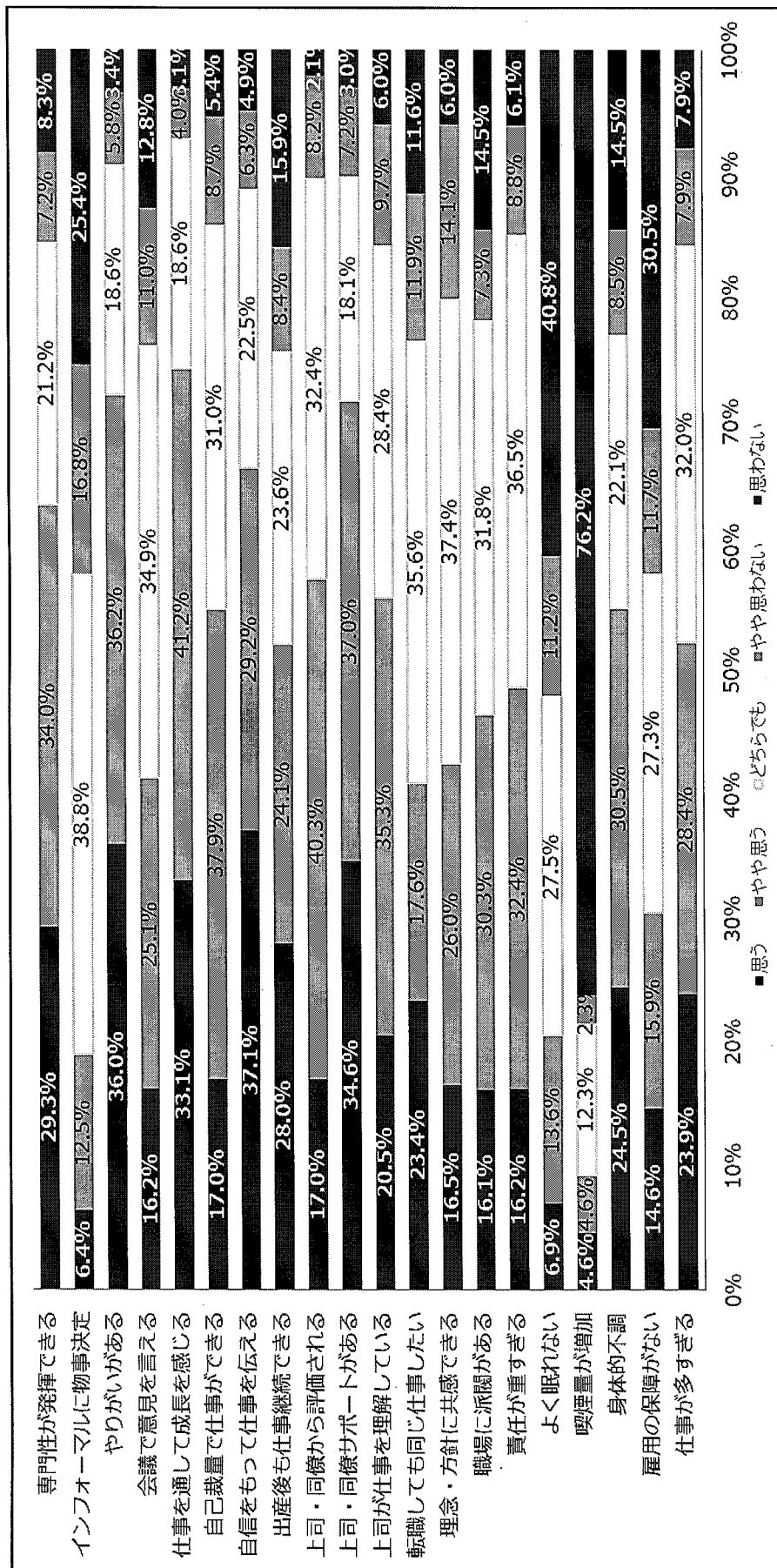


図2 仕事に対する意識 (N=446)

表 15 性別と仕事の内容の違い

仕事の内容と性別	人 数	比 率
性別によって違いはない	241	74.2%
男性に別の仕事加算される	52	16.0%
女性に別の仕事加算される	28	8.6%
男女それぞれに別の仕事加算される	4	1.2%
合計(N)	325	100.0%

表 16 性別と昇進の関係

昇進と性別	人 数	比 率
男性のほうが昇進が早い	30	9.3%
男女同じ	266	82.4%
女性のほうが昇進が早い	3	0.9%
働いていない	24	7.4%
合計(N)	323	100.0%

表 17 現職についての職業継続意識

職業継続意識	人 数	比 率
仕事はしない	12	3.8%
結婚まで続ける	61	19.4%
第一子誕生まで続ける	40	12.7%
定年まで続ける	35	11.1%
体力の限界まで続ける	85	27.0%
同職種への転勤まで続ける	11	3.5%
別職種への転勤まで続ける	34	10.8%
その他	37	11.7%
合計(N)	315	100.0%

表 18 離職の意思と離職経験

離職の意思と離職	人 数	比 率
辞めたいと思ったことはない	60	18.2%
辞めたいと思い辞めたことがある	140	42.4%
辞めたいと思ったが続けている	130	39.4%
合計(N)	330	100.0%

表 19 離職したいと思った理由

N=191

理 由	最も離職したい理由	比率	離職したい理由 (複数回答)	Nに対する比	比率
上司との人間関係	60	31.4%	106	55.5%	17.5%
同性の同僚との人間関係	17	8.9%	50	26.2%	8.2%
異性の同僚との人間関係	2	1.0%	13	6.8%	2.1%
雇用上の身分の違う方との人間関係	3	1.6%	16	8.4%	2.6%
職業の向き・不向き	12	6.3%	72	37.7%	11.9%
雇用上の身分継続	4	2.1%	9	4.7%	1.5%
収入	19	9.9%	72	37.7%	11.9%
職場の方針	28	14.7%	78	40.8%	12.9%
結婚・家族	2	1.0%	28	14.7%	4.6%
精神的・身体的不調	21	11.0%	86	45.0%	14.2%
別の職種への関心	10	5.2%	42	22.0%	6.9%
その他	13	6.8%	35	18.3%	5.8%
合計	191	100.0%	607	—	100.0%

表 20 離職せず職業継続したい理由

N=136

理 由	最も継続したい理由	比率	継続したい理由 (複数回答)	Nに対する比	比率
上司との人間関係	29	21.3%	61	44.9%	16.2%
同性の同僚との人間関係	24	17.6%	67	49.3%	17.8%
異性の同僚との人間関係	4	2.9%	30	22.1%	8.0%
雇用上の身分の違う方との人間関係	3	2.2%	16	11.8%	4.2%
職業の向き・不向き	16	11.8%	49	36.0%	13.0%
雇用上の身分継続	2	1.5%	8	5.9%	2.1%
収入	27	19.9%	53	39.0%	14.1%
職場の方針	5	3.7%	29	21.3%	7.7%
結婚・家族	9	6.6%	23	16.9%	6.1%
精神的・身体的不調がない	3	2.2%	12	8.8%	3.2%
別の職種への関心がない	2	1.5%	10	7.4%	2.7%
その他	12	8.8%	19	14.0%	5.0%
合計	136	100.0%	377	—	100.0%

表 21 介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士を目指したきっかけ N=356

きっかけ	最も大きな きっかけ	比率	きっかけ (複数回答)	Nに対 する比	比率
その職業の方との出会い	42	11.8%	67	18.8%	7.5%
ボランティア等の経験	55	15.4%	99	27.8%	11.1%
専門職を目指して	7	2.0%	49	13.8%	5.5%
高齢者/子ども/食物の仕事を目指して	130	36.5%	215	60.4%	24.1%
福祉/教育/モノ作りを目指して	9	2.5%	46	12.9%	5.2%
安定した収入を目指して	7	2.5%	21	5.9%	2.4%
長く働ける仕事を考えて	2	0.6%	18	5.1%	2.0%
自分を活かせる仕事を探して	28	7.9%	73	20.5%	8.2%
資格をもって働きたい	19	5.3%	109	30.6%	12.2%
人の役に立ちたいと考えて	28	7.9%	122	34.3%	13.7%
たまたま資格が取得できた	5	1.4%	11	3.1%	1.2%
仕方なく	14	3.9%	36	10.1%	4.0%
その他	10	2.8%	27	7.6%	3.0%
合計(N)	356	100.0%	893	—	100.0%

表 22 同職種の身内の有無（複数回答） N=161

身内の有無	人 数	Nに対する比	比 率
身内なし	146	—	47.6%
父	11	6.8%	3.6%
母	69	42.9%	22.5%
祖父母	11	6.8%	3.6%
その他身内	70	43.5%	22.8%
合計	307	—	100.0%

表 23 学生時代の実習先（複数回答） N=457

実習先	人 数	Nに対する比	比 率
介護老人福祉施設	198	43.3%	23.5%
介護老人保健施設	151	33.0%	17.9%
重症心身障害児施設	40	8.8%	4.7%
訪問介護事業所	102	22.3%	12.1%
グループホーム	18	3.9%	2.1%
デイサービスセンター	69	15.1%	8.2%
デイケアセンター	17	3.7%	2.0%
その他高齢者福祉施設	14	3.1%	1.7%
病院	37	8.1%	4.4%
幼稚園	215	47.0%	25.5%
保育所	233	51.0%	27.6%
児童養護施設	133	29.1%	15.8%
乳児院	71	15.5%	8.4%
身体障がい児・者施設	28	6.1%	3.3%
知的障がい児・者施設	55	12.0%	6.5%
自衛隊	29	6.3%	3.4%
企業	3	0.7%	0.4%
その他	8	1.8%	0.9%
合計	843	—	100.0%

表 24 実習先での経験

N=448

経験	思わない	やや思わない	どちらでもない	やや思う	思う
関わり・援助がうまくできた	6.3%	18.5%	31.7%	37.3%	6.3%
レクリエーション・設定等がうまくできた	13.6%	24.1%	39.3%	19.0%	4.0%
授業内容を活動できた	3.6%	7.2%	28.2%	47.7%	13.4%
対象者に変化が見られた	5.8%	7.6%	41.5%	36.8%	8.3%
丁寧な指導をうけた	2.7%	4.0%	18.1%	46.1%	29.1%
指導者と話す機会があった	4.3%	12.4%	34.8%	32.4%	16.2%
目標とする人に出会った	17.6%	14.3%	35.5%	21.9%	10.7%
対象者と関わる時間が少なかった	18.9%	24.3%	42.7%	10.8%	3.4%
雑用が多かった	13.4%	15.4%	41.4%	21.9%	7.8%
想定とは異なった	20.6%	20.4%	42.5%	12.8%	3.8%
どう動けばいいか分からなかった	8.9%	14.3%	26.1%	35.2%	15.6%
指導者により指導内容が異なった	13.2%	18.1%	34.2%	22.4%	12.1%
実習記録が書けず苦勞した	9.0%	14.6%	24.9%	29.4%	22.2%
記録を丁寧に指導された	4.0%	12.6%	33.0%	36.3%	14.1%
指導者の目が気になった	10.1%	7.6%	36.1%	27.4%	18.8%
資格取得意欲につながった	5.0%	9.3%	21.7%	35.0%	29.1%

表 25 就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目：生活福祉・専攻科科目(複数回答)

N=141

科目	役立っている科目	Nに対する比	比率	学びたかった科目	Nに対する比	比率
介護技術	54	38.3%	17.9%	52	36.9%	17.2%
福祉制度	13	9.2%	4.3%	46	32.6%	15.2%
解剖生理学	23	16.3%	7.6%	32	22.7%	10.6%
疾患に関すること	41	29.1%	13.6%	63	44.7%	20.9%
家政学	4	2.8%	1.3%	11	7.8%	3.6%
アクティビティケア	8	5.7%	2.7%	17	12.1%	5.6%
リハビリテーション	11	7.8%	3.7%	26	18.4%	8.6%
認知症ケア	32	22.7%	10.6%	43	30.5%	14.2%
介護過程	23	16.3%	7.6%	24	17.0%	7.9%
高齢者・障害者の心理	55	39.0%	18.3%	38	27.0%	12.6%
基礎教養	11	7.8%	3.7%	15	10.6%	5.0%
卒業研究	21	14.9%	7.0%	6	4.3%	2.0%
その他	0	0.0%	0.0%	3	2.1%	1.0%
特になし	5	3.5%	1.7%	10	7.1%	3.3%
合計	301	—	100.0%	302	—	100.0%

表 26 就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目：食物栄養科目(複数回答)

N=55

科目	役立っている科目	Nに対する比	比率	学びたかった科目	Nに対する比	比率
医学・栄養学	20	36.4%	12.6%	36	65.5%	11.9%
食品学・衛生学	32	58.2%	20.1%	28	50.9%	9.3%
献立・調理	53	96.4%	33.3%	36	65.5%	11.9%
給食・栄養指導	34	61.8%	21.4%	31	56.4%	10.3%
基礎教養科目	8	14.5%	5.0%	15	27.3%	5.0%
その他	1	1.8%	0.6%	3	5.5%	1.0%
特になし	11	20.0%	6.9%	9	16.4%	3.0%
合計	159	—	100.0%	302	—	100.0%

表 27 就職後役立つ科目・もっと学びたかった科目：幼児教育・地域こども系科目（複数回答）

N=144

科 目	役立って いる科目	Nに対 する比	比 率	学びたかった 科目	Nに対 する比	比 率
社会福祉	70	48.6%	17.1%	28	19.4%	9.3%
発達心理学	38	26.4%	9.3%	33	22.9%	10.9%
小児保健	54	37.5%	13.2%	32	22.2%	10.6%
栄養	16	11.1%	3.9%	28	19.4%	9.3%
保育原理・教育原理	22	15.3%	5.4%	12	8.3%	4.0%
実習指導	60	41.7%	14.7%	20	13.9%	6.6%
音楽表現	70	48.6%	17.1%	24	16.7%	7.9%
造形表現	43	29.9%	10.5%	16	11.1%	5.3%
言語表現	14	9.7%	3.4%	16	11.1%	5.3%
家族・家庭	9	6.3%	2.2%	12	8.3%	4.0%
基礎教養	3	2.1%	0.7%	12	8.3%	4.0%
その他	2	1.4%	0.5%	3	2.1%	1.0%
特になし	8	5.6%	2.0%	11	7.6%	3.6%
合計	409	—	100.0%	302	—	100.0%

表 28 在学中の就職希望先（複数回答）

N=405

就職希望施設	人 数	Nに対する比	比 率
高齢者福祉施設	140	34.6%	21.9%
障がい児・者福祉施設	40	9.9%	6.3%
病院	24	5.9%	3.8%
公立幼稚園	43	10.6%	6.7%
私立幼稚園	47	11.6%	7.4%
公立保育所	85	21.0%	13.3%
私立保育所	94	23.2%	14.7%
保育所以外の児童福祉施設	16	4.0%	2.5%
一般企業	60	14.8%	9.4%
公務員（事務・消防・警察等）	18	4.4%	2.8%
自営業（農業含む）	4	1.0%	0.6%
家事従事者（専業主婦）	3	0.7%	0.5%
学生（進学）	21	5.2%	3.3%
その他	43	10.6%	6.7%
合計	638	—	100.0%

表 29 就職活動時の有利

内 容	不 利	無関係	有 利	合 計
大学の名前	5	298	102	405
比率	1.2%	73.6%	25.2%	100.0%
就職指導体制	1	225	175	401
比率	0.2%	56.1%	43.6%	100.0%
大学の教育内容	7	228	173	408
比率	1.7%	55.9%	42.4%	100.0%
性別	9	328	68	405
比率	2.2%	81.0%	16.8%	100.0%

表 30 介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士に対する就業意思

就業意思	入学時	比率	卒業時	比率	現在	比率
弱い	36	8.9%	40	9.9%	51	13.6%
やや弱い	44	10.8%	37	9.1%	37	10.0%
どちらでもない	125	30.8%	81	20.0%	99	26.5%
やや強い	98	24.1%	128	31.5%	80	21.3%
強い	103	25.4%	120	29.6%	107	28.6%
合計	406	100.0%	406	100.0%	374	100.0%

表 31 職業継続の意思が強くなった理由

内容	入学時	比率	卒業時	比率
同じ志をもつ仲間がいた	105	22.8%	30	15.2%
仕事への理解が深まった	41	8.9%	51	25.8%
授業や実習でやりがいを感じた	60	13.0%	4	2.0%
自分に向いている	109	23.6%	26	13.1%
現場の現状をなんとかしたい	30	6.5%	5	2.5%
仕事が簡単そう	1	0.2%	2	1.0%
他の職業をめざすのは難しそう	4	0.9%	28	14.1%
やりがいを感じた	95	20.6%	19	9.6%
指導者(上司・同僚)に恵まれた	2	0.4%	29	14.6%
その他	14	3.0%	4	2.0%
合計	461	100.0%	198	100.0%

表 32 職業継続の意思が弱くなった理由

内容	入学時	比率	卒業時	比率
同じ志をもつ仲間がいなかった	5	3.9%	4	3.4%
仕事への興味がわかなかった	4	3.1%	3	2.6%
授業や実習で自信をなくした	26	20.3%	17	14.7%
自分に向いていない	25	19.5%	18	15.5%
現場の現状に失望した	14	10.9%	19	16.4%
就職が厳しい	8	6.3%	14	12.1%
別の職業に興味があった	11	8.6%	4	3.4%
仕事をして自信をなくした	11	8.6%	15	12.9%
指導者(上司・同僚)に恵まれなかった	21	16.4%	13	11.2%
その他	3	2.3%	9	7.8%
合計	128	100.0%	116	100.0%

表 33 専門職としての介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士に必要なもの

(複数回答) N=406

職業継続に必要なもの	人数	Nに対する比	比率
高度な知識と技術	158	38.9%	24.3%
職業的使命感	167	41.1%	25.7%
倫理観	81	20.0%	12.4%
自己の裁量	131	32.3%	20.1%
世間の評価	21	5.2%	3.2%
賃金の高さ	52	12.8%	8.0%
その他	41	10.1%	6.3%
合計	651	—	100.0%

表 34 介護福祉士・栄養士・幼稚園教諭・保育士のイメージ N=405

左の意見に近い	← どちらでもない →					右の意見に近い
専門職である	58.8%	23.0%	10.1%	4.4%	3.7%	専門職ではない
人と関わるのが好き なら誰でもできる	4.7%	9.7%	19.4%	26.3%	40.0%	人と関わるのが好きな だけではできない
生まれつきの資質より 知識や技術が大切	14.6%	24.0%	39.3%	19.5%	2.7%	知識や技術より 生まれつきの資質が大切
「女性」に向いている	6.9%	10.9%	77.7%	3.2%	1.2%	「男性」に向いている
世間の人を専門職と 評価する	11.4%	28.6%	31.1%	17.0%	11.9%	世間は専門職と 評価しない

謝辞

今回の調査に協力いただいた奈良佐保短期大学卒業生・修了生の皆様に深く感謝します。なお、今回の調査は平成24年度奈良佐保短期大学共同研究の助成を受けて実施したものであり、ここに深謝します。